

施設名：名古屋大学医学部附属病院 小児外科

代表者：内田広夫 教授

連絡先：田井中貴久 講師

連絡番号：052-744-2959, shounigeka@med.nagoya-u.ac.jp

施設別：認定施設

平均年間入院件数：580

平均年間手術件数：550

平均内視鏡手術件数：245

平均新生児手術件数：73

平均指導医数：4名

治療対象分野：【肺・胸腔内疾患、気道疾患、消化管疾患、在宅栄養、直腸肛門疾患、排便管理、肝・胆道疾患、腎・泌尿器疾患、生殖器疾患、新生児、悪性腫瘍、血管奇形、外傷】

初期研修医受け入れ：可

当院：基幹施設

後期研修医受け入れ：可

当院：基幹施設

小児外科専門医サブスペシャリティー研修医受け入れ：可

当院：基幹施設

アピールポイント：

小児外科の疾患は個々の症例は数少ないものの、病気は多彩であるため一施設で多数の手術を行うこと、集約化が重要と考えています。当院では年間で total500 件以上手術、240 件以上の内視鏡手術、70 件以上の新生児手術を行っています。近年、小児外科として全国に先駆けてロボット支援手術も導入しています。その他、小児外科医の教育および育成、小児外科に関する研究など、high volume center としての役割を担っています。

連携施設（教育関連施設など）に関する情報・アピールポイント：

教育関連施設として、あいち小児保健医療総合センター、愛知県医療療育センター、安城更生病院、豊橋市民病院と連携しています。これらの連携施設で修練を積むことも可能です。

小児外科に興味がある医学生・研修医へのメッセージ：

小児外科疾患の多くは発生頻度が少なく、一人前的小児外科医になるまでにどれだけ経験を積むかがとても重要です。一般外科ドレーニングの後、小児外科のトレーニングを十分かつ効率的に行いたい方は、お気軽にご相談ください。是非、われわれと一緒に小児外科をやりましょう。

データー提供日：2024年4月16日